

ノーム通信 8 2 2003-4

〒130 0026 東京都墨田区両国4-30-4-1109

GNOMES



一ヶ月はすぐに過ぎていきますね。先だ先だと思っていたエコグリーンテック2003がもう来月になってしまいました。このあいだ都内の都市農業公園に行ったらパンフレットがおいてあってそこに講演予定まで出ていたので「あ、そうだやんなきゃいけないんだ。」と気がついてあわてました。年1回環境共生とか循環型社会作りのための環境・緑化産業展で東京ビックサイトでやるのですが、講演内容などを本にしなければならなくてグラ刷りが回ってきて改めてあわてています。まあ1時間半ですからどうにかなるだろうとは思のですがやはり準備も必要かもしれないし、第一自分の中で話す内容が固

まっていないのがちょっとつらい。この頃はそんなことばかりやっていて、4月からは「建設物価」という硬くて高い雑誌に「小さな事務所の仕事」として環境デザインの連載を始めましたがこの際この10年ほどやってきた仕事のかんたんなまとめを書いてみようと思っています。自由に書かせていただけるのでなるべくグラフィックをたくさん使って、見ても楽しいものにしたいものです。

都市農業公園は荒川放水路の鹿浜橋にあるのですがそこに行った帰りに土手をずっと歩いてきました。広い土手で流れはゆったりと流れて上流は川越にも繋がっているらしく川越の観光船もたまに見ますし隅田川の水上市バスもやってきます。野球場やサッカー場もたくさんあって応援団や、チアリーダなどの練習をやっていたり、家族連れや、学生たちがたくさん思い思いに歩いたりあそんだりしています。いかにも自然の大河に見えるのですが、この川は本当は手で掘ったもので今見るとこんな大きな川を掘ったとは信じられませんが、小さい頃長屋の隣の長火鉢の脇でいつも傘地を手回しのミシンで縫っているじいさんがきせるをふかせながら「もっこをかついで掘ったもんだ。」という話を聞いて、その膝元で目を大きくして聞いていたものです。なにもない所だったのに今ではその中でたくさんの人たちが気持ちの良い時間を過ごして、区の花火大会さえも盛大に行われています。どこでもたくさんの公共施設を作ってはいますが、ここはただ広くて自然な土手があり流れが悠々と流れているだけなのに、周りの人を幸せにすることについてはこの水辺空間に匹敵する優れた土木工事はあまりないと思っているのです。そういったのびやかな空間を一つでも多く増やしていきたいとシロツメグサの土手を歩きながら考えました。土木の仕事と言うのは時間に追われてやっつけ仕事でやっていいものではないのです。土をいじると言うことが将来までどれほど多くの影響を与えるかをモンゴルでも見てきました。出来るからやってしまうのではなく、よく、よく考えなければいけないと話そうかと土手を歩きながら考えました、この日は15キロは歩きました。

エコグリーンテックは5月21日から23日まで。東京ビックサイトでおこないます。私は23日の3時から話す予定です。問い合わせなどは事務局へ03-3267-4886です。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com